

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	小児看護の成り立ちと考え方		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	矢田昭子	実務経験と その関連資格	元島根大学医学部看護学科 教授			
《授業科目における学習内容》						
子どもを成長・発達していく存在としてとらえ、子どもが健やかに成長・発達を遂げる権利、小児保健の制度を理解し、子どもと家族の健康な生活への支援について学ぶ。また、変化する社会の中での子どもをめぐる問題から「小児看護の役割」を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度・出席状況(10%)、グループワーク・発表(10%)、筆記試験(80%)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 国民衛生の動向						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した内容について主体的に復習を行う。学校外でも生活の中で、子どもに関心を寄せて理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書を用いて予習・復習を行い、自ら学ぶ姿勢を持ち、主体的に参加する。後半の授業では子どもの成長・発達を理解したことを前提に授業を進める。グループワークも個人ワークも計画的に進めていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児看護の対象と目標を説明することができる	教科書 AV機器他		小児看護の対象について、テキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	小児看護の特徴と理念 1)小児看護の対象と目的・役割			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	小児を取りまく状況や小児看護の特徴を述べることができる	教科書 AV機器他		前回の授業で学んだ内容と子どもと家族について予習しておく。
		各コマにおける授業予定	小児看護の特徴と理念 2)小児と家族の諸統計 3)小児看護の変遷			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児看護における倫理を述べる 子どもにとっての家族、家族の特徴について述べる	教科書 AV機器他		前回の授業で学んだ内容を復習し、とりくむこと。
		各コマにおける授業予定	小児看護の特徴と理念 4)小児看護における倫理 5)小児看護の課題			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの成長・発達の特徴について述べる	教科書 AV機器他		子どもの成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達 1)成長・発達とは 2)成長・発達の進み方(一般的原則)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	成長・発達に影響する因子について述べる	教科書 AV機器他		子どもの成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達 3)成長・発達に影響する因子			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児期の身体発育の評価について述べるができる	教科書 AV機器他	前回の授業で学んだ子どもの成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達 4)成長の評価		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの発達の評価について述べるができる	教科書 AV機器他	前回の授業で学んだ子どもの成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達 5)発達の評価		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児期の特徴をふまえた上で養育・看護を述べるができる	教科書 AV機器他	新生児期の成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	新生児期		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期の特徴をふまえた上で養育・看護を述べるができる	教科書 AV機器他	乳児期の成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	乳児期		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	幼児期の特徴をふまえた上で養育・看護を述べるができる 学童期の特徴・環境を捉えた上で養育・看護について述べるができる	教科書 AV機器他	幼児期・学童期の成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	幼児期・学童期		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	思春期・青年期の特徴を捉えた上で看護について述べるができる	教科書 AV機器他	思春期・青年期の成長・発達についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	思春期・青年期の子ども		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達段階別の成長・発達の特徴をふまえた、日常生活とその看護について述べるができる	教科書 AV機器他	各期の特徴について調べた上で取り組むこと。
		各コマにおける授業予定	成長・発達をふまえた子どもの日常生活と看護(グループワーク・発表)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの身体的アセスメントにおけるコミュニケーションと、子どもの家族とのコミュニケーションについて述べるができる	教科書 AV機器他	子どもとのコミュニケーションについてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	成長・発達をふまえた子どもや家族とのコミュニケーション(グループワーク・発表)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達段階別の成長・発達の特徴をふまえた、健康課題と課題への取り組みについて述べるができる	教科書 AV機器他	各期の成長・発達について復習し、取り組むこと。
		各コマにおける授業予定	成長・発達をふまえた子どもの健康課題への取り組み(グループワーク・発表)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	単位のまとめとして、学習してきた内容から小児看護の対象と看護の役割を説明することができる	教科書 AV機器他	これまでの学習内容を復習し、まとめておくこと。
		各コマにおける授業予定	まとめ		